

## 後期基本計画 令和 4年度 施策方針評価書

政 策：05 学びにより充実した人生を送ることができるまち

基本施策：03 学校給食による望ましい食習慣の実現

施 策：01 安全安心な学校給食の提供と食育の推進

<b>施策担当職・氏名</b>	学校給食センター総括主査 宮田 聖子
-----------------	--------------------

### 1. 施策の令和 4年度までの実現状況を明らかにする

#### (1) 施策の内容

	<p>滝沢市内の小中学校の児童生徒に、安心安全な学校給食を提供します。</p> <p>また、児童生徒が将来にわたって健康に生活していくため、望ましい食習慣を理解し実践できるよう、学校と連携し、食の指導の充実に努め、食育の推進を図ります。</p>
--	--

#### (2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 学校給食食材生産供給組合からの年間納入量 単 位 kg	9,588	9,691	9,794	9,897	10,000	10,000	D
			9,738	8,411	8,253	6,208	6,208	△820.4
	単 位							
	単 位							

#### (3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推 移	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	1168 学校給食事業 食に関する指導回数(クラス数) 単 位 クラス	目標値	110	110	120	120	120	120
		実績	128	122	88	113	-	-
2	6124 滝沢市立学校給食センター運営委員会事務 開催回数 単 位 回	目標値	2	2	2	2	2	2
		実績	2	2	2	3	-	-
3	15467 学校給食施設改善事業 調理等に影響を及ぼす故障発生割合 単 位 %(発生件数 稼働日数)	目標値	2	2	2	2	2	2
		実績	1.1	0	0.5	9.4	-	-
	単 位	目標値						
		実績						
	単 位	目標値						
		実績						

## 後期基本計画 令和 4年度 施策方針評価書

政 策 : 05 学びにより充実した人生を送ることができるまち

基本施策 : 03 学校給食による望ましい食習慣の実現

施 策 : 01 安全安心な学校給食の提供と食育の推進

施策担当職・氏名 学校給食センター総括主査 宮田 聖子

## 2. 施策の実現に向けての令和 4年度までの取り組み状況を分析する

## (1) 施策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
	<ul style="list-style-type: none"> <li>滝沢市学校給食食材生産供給組合からの野菜など、地場農産物を活用しました。</li> <li>望ましい食習慣形成のため、市内小・中学校の児童生徒に「食に関する指導」を行いました。</li> <li>給食センター施設設備の改修整備を実施しました。</li> <li>調理等業務の民間委託を継続しています。</li> </ul>

## (2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、令和 4年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
	<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地場農産物の活用・「食に関する指導」の継続実施と指導内容の充実・施設設備の改修整備</li> </ul> <p>【重点課題の達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>滝沢市学校給食食材生産供給組合との情報交換を密にし、地場農産物の活用に努めましたが、天候不順や病気の発生による根菜類の生育不良により、年間納入量の目標値を達成できませんでした。</li> <li>「食に関する指導」を継続実施しました。 ・施設整備について、必要な修繕を行いました。</li> </ul>

## 3. 施策の実現に向けての令和 4年度実施後での変化を認識する

## (1) 施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
	物価高騰が続いています。

## (2) 基本施策との関連性から施策の見直し

A	必要なし
	<p>安心安全で栄養バランスのとれた学校給食の提供は、児童生徒の心身の健全な発達に資するとともに、児童生徒への食育の推進となり、将来の健康な生活に寄与するものです。今後も引き続き同内容の施策の実施が必須であるため、見直しは必要ありません。</p>

## 4. 施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

## (1) 令和 6年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
	<p>【今後の方向性】</p> <p>引き続き安心安全な学校給食提供のために「施設整備」と「地場農産物の活用」を進め、食育推進のために「食に関する指導」の継続の必要があります。</p> <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計画的な施設整備の推進</li> <li>地場農産物受入量の確保</li> <li>「食に関する指導」の継続実施</li> </ul>

